

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（南部地域）第2回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年9月30日（金） 14時00分～16時00分

場 所：滋賀県南部合同庁舎4階4A会議室

出席者：井上 和典 委員（栗東市 建設部部长）

岩崎 裕史 委員（公募委員）

打田 敏之 委員（草津市 建設部部长）

大黒 栄一 委員（公募委員）

小川 圭一 委員（座長）（立命館大学工学部環境都市工学科 教授）

奥田 晃 委員（草津警察署 交通第一課課長）

奥田 康博 委員（（公財）滋賀県身体障害者福祉協会 常務理事）

川瀬 正 委員（守山市 都市経済部部长）

田中 ひろ子 委員（守山野洲交通安全協会会長、滋賀県商工会議所女性会連合会副会長）

中井 拓 委員（守山警察署 交通課課長）

三上 忠宏 委員（野洲市 都市建設部部长）

山本 勇造 委員（公募委員）

欠席者：綾井 考子 委員（草津栗東交通安全協会 副会長）

平川 千波 委員（滋賀県トラック女子部会 会長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・小川座長より、挨拶を行った。

（2）第1回地域ワーキングの内容の確認

- ・事務局より第1回地域ワーキング内容について説明を行った。

（3）資料説明「第2回地域ワーキング」

- ・事務局より第2回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見聴取

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【地域の声（案）について】

① 交通渋滞の緩和

- ・ 渋滞損失時間が大きいということは経済的な損失がかなり大きい。渋滞箇所にはセンターのゼブラ化や右折車線などの整備を考えてもらいたい。

② 災害時も含めたまちづくりに資する拠点間ネットワークの整備

- ・ 近年、台風も大型化し、雨の降り方も集中豪雨など激しくなっており、道路が寸断される状況も現実になっている。通行不能な道路の代替ルートの確保、Wネットワーク化の視点も入れての幹線道路の整備を進めてもらいたい。
- ・ キーワードで無電柱化とあるが、一般の方には、そのメリットが分かりにくいと思う。
- ・ 緊急輸送道路の東西軸は琵琶湖大橋取付道路の1路線しかない。南海トラフ等の巨大地震を想定すると、県内道路が損壊されると補助交通に頼ることが予測され、東西軸が取付道路だけでは不十分である。今後整備していく必要があると思う。

③ 安全で安心・快適に利用できる歩行者・自転車の道路利用空間の整備

- ・ 道路整備をするにあたって、どういった方が通るルートになるか、あとでこんな歩道を作らなければ良かったといったことが出てくるともったいないので、それを見据えて整備を進めてもらいたい。
- ・ 歩行者と自転車を分けるような歩道整備をお願いしたい。
- ・ 2mの幅員の歩道では自転車は通れない。3m以上の整備が今後必要だと思う。また、通学路はガードレールによる歩者分離、交差点での突入防止のためのガードレールの整備が必要だと思う。

④ 快適な道路環境創出に向けた維持管理

- ・ 色々と新しく道路がきれいになるのは良いが、既存道路が凸凹である。特に湖周道路など、雑草が繁茂しており、歩道と車道の間など歩道があるのが見えにくい箇所もあるので整備をお願いしたい。
- ・ 維持管理に関して重点項目が設定されていないが、とても重要な項目だと思う。施設周辺の歩道は整備されているが草が繁茂している。点字ブロックがめくれあがって車いすが通れないこともある。県道の整備ができて市道ができていないと意味ないので、県と市で連携しながら進めてもらいたい。
- ・ 注意喚起と適切な案内に限る。減速マークやスクールゾーンの設定など、ドライバーや歩行者に分かりやすく明示してもらいたい。

【地域の重点項目（案）について】

① 著しい渋滞を緩和できる整備

- ・ 昔からの課題だと思う。渋滞速度のデータについては、できるだけ新しいデータで確認してもらいたい。
- ・ 渋滞を緩和できる整備と、幹線道路の整備について、言葉の使い分けについて記載をして

おいてほしい。

② 幹線道路の整備

- ・幹線道路のことも入れていただいているので、しっかり予算を取って進めてもらいたい。
- ・幹線道路を整備することで渋滞が緩和し、渋滞が緩和すると、歩行者や自転車の飛び出しが減るので、交通事故も減ると思う。全部の項目が幹線道路の整備に関わってくる内容だと思う。
- ・バイパス整備を進めてもらっているが、竜王ICへのアクセス道路について、管轄がまたがる部分の道路になるが、非常に重要な道路なので整備を考えてもらいたい。

③ 通学路等の整備

- ・通学路等となっているが、学校関係だけに限定するのではなく、未就学児や自転車なども含めてほしい。
- ・小学生の通学路の安全対策や未就学児の移動経路だけでなく、中学生や高校生の通行道路の安全対策も視野に入れてもらいたい。
- ・県道で通学路に指定しているところは少ないので、通学路に限定すると歩道の整備が遅れるのではないかと懸念がある。
- ・“高齢者や障害のある方に配慮した”という文言もキーワードに入れるべきだと思う。
- ・福祉施設や医療機関周辺の道路も含めてもらいたい。また、バリアフリーだけでなく、ユニバーサルデザインについてもキーワードとして入れてもらいたい。

【その他について】

- ・県事業で色々進めていただいているが、文化公園都市などの大型プロジェクトの効果が発揮されるような、効果につながるように考えていただけるとありがたい。